

# アゼナ

畦菜 | falsepimpernel, common | アゼナ科 | アゼナ属

*Lindernia procumbens* (Krock.) Borbeås

分布	本州以南	生活史	一年生(夏生)
出芽	5~7月	繁殖器官	種子(4.7mg)
花期	8~10月	種子散布	重力, 水
草丈	足首~膝		

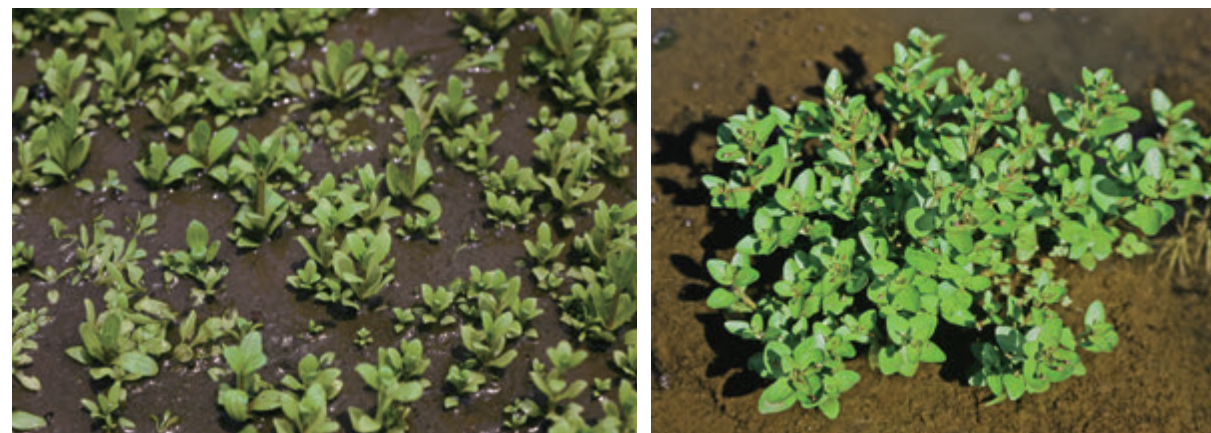
在来

ヒメアメリカアゼナ *Lindernia anagallidea* (Michx.) Pennell は北アメリカ原産、アゼナに似るが葉は小型で、花柄は苞葉の1.5~3倍長。関東以西に分布する。

アゼナ、アメリカアゼナ(アメリカアゼナC型)、タケトアゼナ(アメリカアゼナR型)、ヒメアメリカアゼナなどを総称してアゼナ類と呼ばれる。アメリカアゼナは1930年代に侵入が確認され、1950年代以降に水田で見られるようになった。水田の代表的な小型の一年生雑草であるが、水深の浅い場所に多く、湿った畑にも生育する。3種はしばしば水田に混生する。いずれもスルホニルウレア系(ALS阻害)除草剤に抵抗性タイプが確認されている。



アゼナ。左:子葉は長楕円形~線状披針形で先は尖らず、長さ1.5~4mm。淡緑~緑色で無毛。第1対生葉は線状楕円形または卵状楕円形、長さ4~12mm。中:幼植物。葉は対生し、無柄で卵形~長楕円形。全体無毛。右:生育期。葉に鋸歯はなく全緑、3~5本の明瞭な平行脈がある。茎は四角い柱状で株元から分枝する。植物体は全体に柔らかい。



水田に群生したアゼナ幼植物。

アゼナ開花期。葉腋から長い花柄を出し、その先に花を単生する。



水田に混生したアゼナ類。左:アゼナ、右:タケトアゼナ。

裂開した蒴果から種子を散布したタケトアゼナ。果柄は苞葉と同長~1.5倍長。果実の先は尖る。

# アメリカアゼナ

- | falsepimpernel, low | アゼナ科 | アゼナ属

*Lindernia dubia* (L.) Pennell subsp. *major* (Pursh) Pennell

分布	本州以南	生活史	一年生(夏生)
出芽	5~7月	繁殖器官	種子(4.6mg)
花期	6~10月	種子散布	重力, 水
草丈	足首~膝		

北アメリカ

# タケトアゼナ

- | falsepimpernel, low | アゼナ科 | アゼナ属

*Lindernia dubia* (L.) Pennell subsp. *dubia*

分布	本州以南	生活史	一年生(夏生)
出芽	5~7月	繁殖器官	種子(4.6mg)
花期	6~10月	種子散布	重力, 水
草丈	足首~膝		

北アメリカ



生育期のアメリカアゼナ。アゼナ同様、株元から分枝する。葉の基部は狭まり、葉柄状になる。全体無毛。左下は幼植物。2~3葉期までは鋸歯は判然とせず、アゼナとの識別は難しい。

生育期のタケトアゼナ。全体無毛で、株元で分枝する。葉の基部は円~心形となってやや茎を抱く。左下は幼植物。



アゼナ類の葉の比較。左:アゼナ。全緑で3~5本の平行脈が目立つ。中:アメリカアゼナ。基部はくさび形で狭く、上半部に鋸歯がある。紫斑があらわれることが多い。右:タケトアゼナ。卵形でわずかに鋸歯がある。



アゼナ類の唇形花の比較。左:アゼナ。葉腋から長い花柄を出し、淡紅紫色の唇形花を単生する。花は長さ約6mm。下唇は上唇より長い。萼は5深裂する。アゼナは雄ずい4本に葯がある。中:アメリカアゼナ。右:タケトアゼナ。唇形花は白~淡紫色で長さ約1cm。アメリカアゼナ、タケトアゼナは雄ずい4本のうち、2本のみに葯がつく。いずれも日当たりの悪い条件では閉鎖花をつけることがある。



アゼナ類の種子の比較。左:アゼナ。楕円形で少し湾曲し、淡黄褐色。縁に半円形に湾曲した微細な毛を列生し、横の隆起脈はない。長さ0.3~0.4mm。中:アメリカアゼナ。楕円形で少し湾曲し、淡黄褐色。横の隆起脈があり、種子の縁部に毛はない。長さ0.3~0.4mm。右:タケトアゼナ。長さ0.3~0.4mm。